

特44

789

東 京 圖 書 館

和書門

音樂類

函

二架

三號

二冊

觀世音  
東方朔





東方朔



時うりり屋きくして  
 れゆらたや物秩乃  
 日坐の繁よまらあり  
 帝乃ハ劇ハきうらん  
 虎の袖とつね  
 七宝

東方朔



軍令銀の成り掛りし由事  
軍軍の成り掛りし由事  
は遊ばるゝて遊ばるゝて遊ばるゝ  
て遊ばるゝて遊ばるゝて遊ばるゝ  
城の果てに果てに果てに果てに  
是君の功績を。廣く豊かに  
治めしむ。治めしむ。治めしむ。

乃光りよ為るゝぬ。身はと安  
き。信者か。豊かに廣く遊ばるゝ  
は影と形。計なる。史賢王の  
時代。五日の月や十日  
空雨。うねりし。四方乃草。ま







甲「ギン」はくは此方へまのま

君へは家の傍へ住むまのま

同此境の瀬の石へてあり

ては此程の思の昔鳥の敷乃

よくと終回のよと思て母の寵

愛の鳥をよと則西日母は君

へまれやへは事とあはる

らん為よ急めりては早あはる目

あはるははりの心程く仙人表

得態よあ稽くきんそれ仙郷

とりはたへん同はあつたま

乃あはるとは言ふやよあはる

東方編

四



年々経るにやむと樂むといふは  
功自在の海と學の深き處  
道なきは人の心はたまた  
海一採葉は水年々経て終  
成道一修行して大菩薩と  
なり給ふ志人の心はたまた  
なり給ふ志人の心はたまた

教限りてはぬ中や西と母と  
國々々々々々々々々々々々々々  
然現るればもうるまなま  
人々々々々々々々々々々々々々  
ようや。花の三千年来一度  
笑ふなす。は木の仙樂と成と







命院おん千鶴のむすねに抱く人

と君がしらにさかへてあいのちうひ

ありつゝたあいのちうひの西の母を

あへくた申したまはす思ふ

や西の母をのつゝ白雲ひ

とむら路のむすねに抱く人

乃昔身知とあへて飛回ります

うゝとあいのちうひの母の母を

あへくたあいのちうひの

あへくたあいのちうひの

あへくたあいのちうひの

あへくたあいのちうひの

東月











